

根室市歴史と自然の資料館



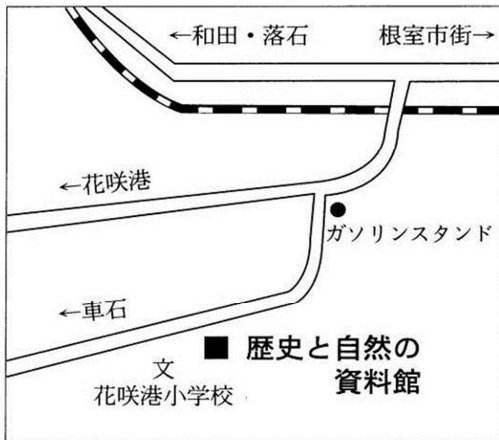
〒087-0032 根室市花咲港 209 番地
電話・FAX (0153) 25-3661

開館時間 火曜日～日曜日
午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

休館日 ・月曜日（その日が国民の休日にあたるときはその翌日）
・国民の休日
・年末年始（12/29～1/3）

入館料 無料

位置図



●目的

根室市とその周辺地域の歴史、自然等に関する資料を収集、保存および展示し、市民の学習、学術および文化の発展向上に資する。

●目標

資料館活動による地域研究、地域学習の振興。

●推進内容

1. 資料館資料の収集・保存および展示に関すること。
2. 資料の調査・研究および資料の整理登録分類に関すること。
3. 資料に関する講演会、講習会等教育、普及に関すること。
4. 資料館において企画展、史跡見学会、自然観察会など事業に関すること。
5. 調査・研究に係る報告書、資料館だよりの発行。

【施設概要】

歴史と自然の資料館は、かつて旧日本海軍の通信施設や花咲港小学校の校舎として使用されていた建物を改修し、貴重な郷土資料を保存・活用するため、1989(平成元)年から「根室市郷土資料保存センター」として運用をはじめ、2004(平成16)年には、博物館法に基づく博物館相当施設として指定を受けました。

施設内は、学芸員の研究室・作業室・資料室・資料展示室等で構成され、市内に300カ所以上ある遺跡から出土した土器や石器、また、生息する動植物など多くの資料があり、そのなかには1988(昭和63)年に発見され、北海道指定有形文化財となった縄文時代後期の「土偶」や、天然記念物であるシマフクロウの標本などをはじめ、貴重な資料を多数所蔵・展示しています。

【平成30年度の主な受入資料】

旧樺太日露国境標石天第1号拓本、根室缶詰株式会社関連資料、大町桂月の書、福田家関係資料、ラッコ毛皮製のベストなど386点



▲自然観察会「根室の海の宝探し・ビーチコーミングを楽しもう」

年度別 根室市歴史と自然の資料館利用状況

年度	開館日数	個人	団体		合計
			件数	人数	
26	294	1,714	24	535	2,249
27	296	1,917	37	682	2,599
28	293	1,765	31	707	2,472
29	293	2,585	43	861	3,446
30	290	2,292	35	1,209	3,501

▼資料館ラボ vol.8 「鳥たちの冬の暮らしを知ろう・足環付け調査をちょこっと体験」



主 な 事 業



▲松浦武四郎パネル展



▲学芸員講演会



▲北構保男氏収集資料展示

平成 30 年度 主な実施事業

(歴史と自然の資料館)

区分	事業名	実施月日	実施場所
教育・普及	資料館常設展示	通年	資料館
	ねむろマチカドミュージアム展示	通年 2回更新	スワン44等 全3か所
	パネル展 「レッドデータ根室の生き物～根室に暮らす絶滅危惧種たち～」	5月 3日～11日	総合文化会館
	自然観察会 「根室の海の宝探し・ビーチコーミングを楽しもう」	7月21日	長節海岸
	市政ウォッチングねむろ 「平和について考える 戦跡めぐりコース」	7月29日	市内トーチカ他
	北海道150年事業 「松浦武四郎根室管内巡回パネル展」	9月 4日～8日	総合文化会館
	北海道博物館公開講座シンポジウム 「北方四島の過去と現在・未来に何を伝えるかー歴史・文化遺産を伝えるー」	12月8日	北方四島交流センター
	資料館ラボ Vol.8 「鳥たちの冬の暮らしを知ろう・足環付け調査をちょこっと体験」	12月22日	フィールドイン風露荘
	学芸員講演会	3月22日	総合文化会館
	収集・保存	北構保男氏所蔵考古資料の受入、収納整理事業	4月～3月
民俗・産業資料の収集・整理・分類		随時	資料館
二次資料の収集		随時	資料館
郷土資料データベース化		通年	資料館
動物標本・植物標本の受入		随時	資料館
調査・研究	藤野家文書解説 (藤野家文書解説会との共催)	通年	総合文化会館
	稀少動植物等生息調査	通年	市内

平成 30 年度 主な実施事業

(文化財)

事業名	実施時期	実施場所
落石岬のサカイツツジ 自生地巡視	5月～6月	落石岬
カラフトルリシジミ 生息地巡視	7月～9月	市内
国・道・市指定文化財巡視	随時	市内
埋蔵文化財調査	随時	市内
史跡標柱巡視	随時	市内
国指定史跡チャシ跡群周辺 環境整備	随時	市内